



平成23年度後期 連続テレビ小説

# カーネーション

## ヒロイン発表

連続テレビ小説第85作、ヒロインは「大阪のお母ちゃん」です。

大正時代に生まれ、日本のファッショントレーナーの草分けとして活躍、

やがて女手ひとつで三人の娘を世界的ファッショントレーナーに

育て上げたヒロインの波乱万丈の物語。

舞台は、勇壮な「だんじり祭り」で知られる大阪・岸和田市です。

大正から昭和、平成までを『だんじり魂』で駆け抜けた生涯。

そのパワフルで笑いに満ちた女性の一代記を愛情たっぷりに描きます。



# ヒロインが決定しました!

ヒロイン小原糸子を演じるのは・・・

おのまちこ  
尾野 真千子



1981年11月4日生まれ、29才。奈良県出身。  
1997年のカンヌ国際映画祭カメラ・ドール受賞作品「萌の朱雀」で主演デビュー。この作品でシンガポール国際映画祭主演女優賞を受賞。以降映画を中心に活躍する。  
NHK広島放送局制作のドラマ「火の魚」ではヒロインを演じ、第36回放送文化基金演技賞を受賞。そのほか出演作品は映画「クライマーズ・ハイ」「殣の森」、NHK土曜ドラマ「外事警察」など多数。役柄の幅広さと確かな演技力で、今もっとも注目される女優のひとりである。

## 役柄 小原糸子(オハライトコ)

大正2年、四姉妹の長女として生まれた糸子は男勝りで活発な女の子。「落ち込んででもすぐ浮上、思い立つたら即実行」という性格は生涯変わることはありませんでした。だんじりにあこがれ、男の子と遊んでばかりの糸子ですが、裁縫だけは大好きで、きれいな洋服を見ては、いつか自分も着てみたい、誰かに着せてみたいと思うようになります。常に目の前のこと一生懸命で、自分のやりたいことをおさえられない性格ゆえ、まわりの人や家族とぶつかることが多いのですが、持ち前の明るさ、ユーモア、面倒見の良さで、いつの間にかみんなに愛され、慕われる…そんなおおらかな糸子が、やがて三人の娘の母となり真剣勝負を繰り広げます。

# ヒロイン決定にあたって … チーフ・プロデューサー 城谷厚司

戦争を超えて、時代を超えて精一杯生き抜き、周囲から「お母ちゃん」と慕われた女性。

そのあふれんばかりのバイタリティがヒロイン・糸子の魅力です。激動の時代をだんじりのように駆け抜けた糸子の生涯は山あり谷あり。その一言では言い尽くせない人生の喜怒哀楽を余すことなくリアルに表現できる人。それが私たちがヒロインに望むものでした。

さらに今回のヒロインは情熱的な青春時代から、母として三人の娘たちを育て上げるまでの長い期間を一人で演じなければなりません。そんな人が本当にいるのだろうか…。

祈るような思いで迎えたオーディション。私たちはとうとう出会いました。

カメラに向かい「これでもか、というくらいに感情を伝えていきたい

です」と、かみ締めるように言った、その瞳の奥に、燃えたぎる  
ような「熱」を感じました。同時に、きっとこの人は私たちの抱くイメージに収まりきるのではなく、糸子という役を無限に膨らませてくれるに違いないと確信しました。

明るく激しく、そして優しく、その瞬間その時代を生きる…

劇的なヒロインの活躍にぜひご期待下さい！



## 企画意図

無縫社会という言葉が生まれ、人ととの結びつきが失われつつある現代。

この絆の喪失が現代人から生きる実感を奪っているのかもしれません。

だからこそ、家族と、地域と、そして自分自身としっかり向き合うヒロインを描きたい。

ファッションデザイナー・小篠綾子さんをモデルにドラマを作りたいと思ったのは、そんな思いからでした。ドラマの舞台となる大阪・岸和田市はだんじりの街として知られています。中でも全速力で曲がり角を走り抜ける「やりまわし」は岸和田だんじりのシンボル。それ見たさに訪れる60万人の観光客を毎年魅了してやみません。綾子さんの人生もまた、この豪快なやりまわしのように「体当たり」の人生でした。「どうして男だけが好きなことできるの？ 女だって自由に生きたい」と言い、それを実行した綾子さん。「針とはさみをうまく使えば女は美しく見える。それが女たちに喜びを与え、生きる力になる」そう気付いた時からファッションに魅せられ、夢をふくらませました。それからは仕事にも遊びにも一生懸命。もちろん、男社会の真っただ中で女性が好きなことをするのは大変なことでしたが、そんな「母」の生きる辛さや喜びを見て、三人の娘たちは成長し、やがて世界へと羽ばたいていったのです。綾子さんが娘たちに残した最後の言葉は「与うるは受くるより幸いなり」。自分が好きなことから始め、与えることに喜びを見出すようになった人生。

人と触れ合うことで豊かになっていく人生的な素敵さをとておきのエピソードとともににお届けします。

どうぞ半年間、お楽しみください。

## ものがたり

この物語のヒロインの名は小原糸子（オハラ イトコ）。大正二年、大阪・岸和田の呉服商の娘として生まれました。生まれながらにおてんばだった糸子はだんじり祭りが大好き。でもそれを曳くことができるのは男だけでした。「女より男やったら人生どんなに楽しいんやろ…」そう思った糸子は「女にしか出来んことを見つけて自由に生きたい」と裁縫の道を選びます。やがて岸和田のパッチ屋で一台のミシンと運命的な出会いを果たした糸子は、父の反対を押し切って女学校を中退。ミシン修行を積んで、20歳のとき、夢にまで見た洋装店を開業します。

その後糸子は22歳で父の見合せた仕立て屋の男性と結婚。しかし三人目の子供をみごもったとき、夫は出征先で戦死し、手足ひとつで娘三人を育てるようになりました。

絵が得意でお嬢さん育ちの長女、だんじり好きで男勝りの次女、そして女子テニスで日本一になった三女。「職場が男の戦場なら、育児はそれ以上の女の戦場です」と言ったお母ちゃんと、個性あふれる三姉妹が織り成す涙と笑いの子育て奮闘記の始まりです。

## 作者プロフィール 渡辺あや

1970年兵庫県生まれ。主な作品にNHK「その街のこども」、「火の魚」（第36回放送文化基金賞脚本賞受賞）、映画「ジョゼと虎と魚たち」などがある。「火の魚」はイタリア賞をはじめ海外のコンクールでも多くの賞に輝き注目された。

### 放送予定

平成23年9月26日(月)～平成24年3月31日(土) <全157回>

### ドラマの舞台

大阪・岸和田市 ほか

### 制作スケジュール

平成23年5月 クランクイン予定

あなたの声と受信料で 公共放送 NHK